



モデラーズルーム スタイルブック2

モデルグラフィックス編集部 / 編



GattoNero's Room



ken16w's Room



大日本絵画

ROKUGEN's Room

充 実 し た 模 型 ラ イ フ の た め の 環 境 構 築 術



MODELLER'S Room Style Book

2

モデラーズルーム スタイルブック2



Sasahara's Room



ken16w ,Tanuki , Koji ITO , Hideyuki NONOUE , Dai SASAHARA , Kuniyuki TAKEUCHI ,

Fuzzy , Hiroshi SUMI , Seiji TAKAHASHI , Poch KUMAGAI , Akira TANI , Suou@KAWAGUCHI , RYOTA , Animo NAITOH ,

Yoshitaka CHOUTOKU , KuWa[FRAMEOUT MODELS] , Riku KUROKAWA , Kazuya FUKUDA , Takeshi OHTUKA ,

ROKUGEN , Chogi , Hiroshi NISHIZAWA , Go NISHIMURA , Early Chop! , GattoNero

Renovation Style

01



Pooh KUMAGAI

Amazing Style

02



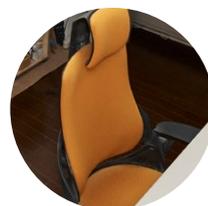
Yoshitaka CHOUTOKU



KuWa



Riku KUROKAWA



Kazuya FUKUDA

Professional Style

03



Early Chop!



GattoNero

Homely Style

04

INDEX

・ken16w	006	・谷明(海洋堂)	042	・作業テーブルをDIYしたい!!	078
・たぬぎ	010	・朱鳳@カワグチ	046	・大塚武士	088
・野々上秀樹	014	・リョータ	050	・ROKUGEN	092
・笹原大(R工廠)	018	・伊藤康治	054	・ちょうぎ	096
・竹内邦之	022	・内藤あんも	058	・西澤浩	100
・ファジー	026	・長徳佳崇	062	・西村剛	104
・鷺見博	030	・KuWa [FRAMEOUT MODELS]	066	・アーリー・チョップ!	108
・高橋清二	034	・黒川りく	070	・がっとなろ	112
・Pooh熊谷	038	・フクダカズヤ	074	・塗装ブースカタログ2020	116



ken16w



TANUKI



HIDEKI NONOUE



Dai SASAHARA



Kuniyuki TAKEUCHI



Fuzzy



Hiroshi SUMI



Seiji TAKAHASHI



Akira TANI



Suu@KAWAGUCHI



RYOTA



Koji ITO



Anmo NAITOH



Takeshi OHTUKA



ROKUGEN



Chogi



Hiroshi NSHIZAWA

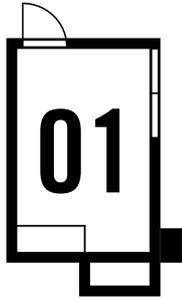


Go NISHIMURA

はじめに

総合模型誌『月刊モデルグラフィックス』誌の人気連載「帰ってきたザ・コクピット 模型部屋を作ろう」で掲載された国内のモデラー／造形師のアトリエをまとめたものが本書です。2017年に刊行された第一弾は大変好評で「模型部屋を作る」という新しいジャンルに日の目を当て、数多くのモデラーに支持していただきました。それに続く第二弾である本書では主にプロモデラーの人々のアトリエの紹介となっています。

昨今模型製作が大人の趣味として認識され、多数のモデラーが模型製作を嗜んでいるうちに壁にあたるのが「模型製作環境」です。スペースであったり、溶剤の臭気であったり、塗装環境の確保であったりと難しい問題が生じます。これはもちろんプロモデラーの方達も同じです。これをどう解決するのか、ぜひ本書を参考にしてください。また大好きな模型を楽しむための空間作り、という点でも模型部屋を作ることは多に意義があります。どんなスタイルの部屋にするのか、それもきっと読者の皆さんが共感できる部屋が見つかるにちがいありません。楽しんで読んでいただければ幸いです。(『月刊モデルグラフィックス』編集部)



Renovation Style

自宅を建てる、もしくは改築／改装するというのは、
モデラーにとって理想の模型部屋を構築する
絶好のタイミングといえる。
どんなカタチが自分にとって使いやすいのか、
理想は人それぞれだ



ken16w



TANUKI



HIDEKI NONOUE

01 Renovation

02 Amazing

03 Professional

04 Home



●リフォームの際、リビングの奥の6畳間を完全に模型専用の部屋として改造したアトリエ。部屋の片面に作り付けられた大型テーブルは、360cmの合板を壁に埋め込んだ備え付けのもの

模型部屋ありきのリノベーション
リビングと直結した、
夫婦の会話がとぎれない模型部屋

模型趣味者の最大の憧れは「理想の模型専用の
工作部屋を作る」ということではないだろうか？

この部屋の主は数多くの模型雑誌でのガンプラ作例で
活躍するKen16wさん。

実家のリフォーム／二世帯住宅化にともない二階部分を
大きく再設計、生活空間のなかに
模型工作部屋を取り込みました。

そんな部屋作りに際してのこだわりを
うかがってみました。



ken16w

各模型誌で作例を担当するガンプラモデ
ラー。motoGPやF1のキットを作りたいの
だが纏まった時間が取れず手を出せずに
いる。模型部屋の居心地が良過ぎ、“なが
ら模型”になってしまい作業スピードが落
ちているのが原因とも言える





1 模型部屋は25畳もの大リビングに直接繋がっており、家族とのコミュニケーションもばっちり。塗装など溶剤を多用する作業以外のときは基本的に扉はあけたままで家族との会話と模型作りを同時に楽しむという。

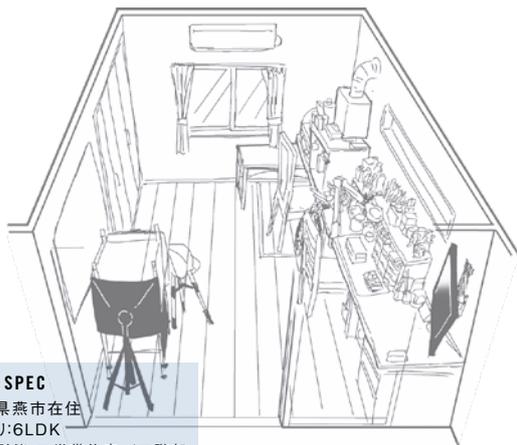
2 メインとなる作業テーブルは1辺が360cmの合板を壁に埋め込んだ備え付けのもの。床への支柱を減らしても十分な強度を確保できたため、板下部分を広く活用できる。また長大な机は左右でのシームレスな作業を可能にしている。その中央を工作スペース、左側を塗装スペースとして活用。奥様が設計したというはめ殺しの正面の窓からも効率良く採光でき、非常に明るい作業場だ



3 塗装ブースは「ネロブース」を使用。壁に専用の排気穴を開口シダクトを繋いでいる。

4 模型部屋の横には家の構造上生じたデッドスペースを本棚&作品展示スペースとして活用している。

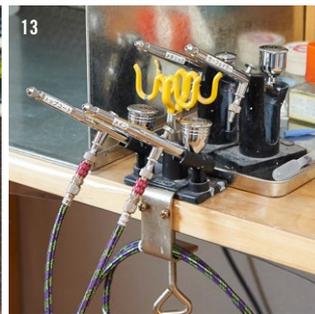
5 一枚板のテーブルは非常に使い勝手がよい。手元のライトは拡大鏡付きのLEDライトを手前に設置。工作时も塗装時も自由に光源を動かせるようにしている



ROOM SPEC

- ・新潟県燕市在住
- ・間取り:6LDK
- ・住宅形態:二世帯住宅/二階部
- ・模型部屋:6畳洋間
- ・家族構成:本人+妻+ご両親

6 塗料はキャビネット内に置いたキャスター付きの書類入れに収納している。7 作業時に使用する各種紙ヤスリはひととりの番手をトレーに集め、出し入れの時間を短縮。8 塗装スペースの床は透明フロアマットで養生している。9 チゼルやタガネなどは取り出しやすいように、斜め収納ができるケースに収納。グリップに刃幅のmm数を表記している。10 ピンセットは各種をフックにかけて管理。11 リューターのビットを専用ケースを作り保管している。12 作业时、一段高い作業スペースがほしい際に使う台。表面にカッターマットを貼っている。13 ハンドピースはメイン用、トップコート用としてタミヤスプレーワークHGを各1本。そのほか、サーフェイサー用、メタリック塗装用、プライマー塗装用、ラメ塗装用など用途に応じて専用のハンドピースを使い分けている



リフォームだからできた。 大型テーブルを中心とした理想の模型工作室

ココがPOINT!

撮影ブースも常設 手早く高クオリティ撮影が可能

専用撮影ブースに両サイドのバンクライトを常設しており、おもいつけばすぐに一眼レフのデジタルカメラで作品の撮影が可能だ。



以前はアパート住まいで、作業はアパート&塗装は車で10分ほど離れた実家でやっていた。その往復が面倒と感じていた。両親の高齢化に伴いリフォームを前提に実家に入ることを決めました。決めるにしても妻の承諾無くして決められるはずもなく、そこはやはり両親との同居を承諾してくれた妻に感謝ですね。

リフォームですので、使える空間は限られ、間取りも大きく変更することが難しかったのです。しかし作品展示棚、資料本棚、漫画本棚は絶対に必要だったので、学生時代に建築関係を学んでいた妻が設計してくれることにより、より有効に空間を使用することができました。抜けない柱なども上手く利用し、展示棚や本棚の一部としてうまくアレンジできたと思っています。

模型部屋用に使用できる6畳のスペースをリビングと併設し、作業時は引き戸を開けて、リビングと繋がった空間とすることにより作業しながらも夫婦の会話ができるようにしてあります。閉じた部屋にこもっちゃうのが嫌だったんです。アパ

ート住まいのときはリビングの小さなテーブルの隅で作業しており、同じ空間に妻がいて、何気ない日常会話をしながらの作業だったわけですね。それが何気に心地よかったです。よね。ひとりになって集中したいという方には考えられないとは思いますが笑。

塗装ブースはネロブースを導入しました。壁にはネロブースに合わせた排気口を設置しています。いままでは小型のプロペラファンを使用した自作のブースを使用していましたが、その性能差は歴然で、臭いレベルで驚いています。基本的にはブース内での塗装が推奨されていますが、ブース内に入りきらないサイズの1/10電動RCカーのポリカーボネイト製ボディを缶スプレーで塗装しても、吹き返しもなく吸い込んでいました。ネロブースの性能には大満足しています。リビングとのあいだの引き戸を全開にして塗装しても、なんら臭いを感じないと妻のお墨付きです。この部屋のコンセントに合致した強力な塗装ブースですね。

01 Renovation

02 Amazing

03 Professional

04 Home



●与えられた3畳ほどの空間に見事に工作/塗装の環境が構築された、模型製作専用の部屋となっている

新築戸建て建築時に、 3畳のスペースを模型専用 に確保

自宅を新築する際に優先されるのは、家族が長時間過ごすであろうリビング、寝室、将来の家族のための部屋割りや水回りなど生活の主体となる空間である。しかしながら、ささやかでもモデラーとしてのスペースを差し込むことが許される場合、はたしてどうしたらベストな空間を構築することができるのか？
作り付けの専用空間だからこそ考えられるレイアウトや導線を考えた道具類の配置にこだわってみたい。



たぬき

『月刊モデルグラフィックス』など多数の模型誌でガンブラを担当する新潟県在住のモデラー。大きな見た目に反して細かい作業を得意とする。最近ではインドカレーにハマり中でおいしいお店を調査中



作り付けの机のおかげでテーブル下に
空間を確保





ROOM SPEC

- ・場所:新潟県新潟市
- ・住居形態:一戸建て住宅
- ・築年数:1年
- ・建物全体の間取り:5LDK
- ・模型部屋の間取り:3畳
- ・家族構成:本人、妻 2人暮らし



14 9 部屋内はL字型にテーブルがレイアウトされ正面は塗装関係に、奥側は工作関係が主体となるような配置になっている。2 3 手前にはラックが置かれ上部には資料本や厳選された在庫キットを管理。下側はショーケースとなっており、完成品をここに展示している。5 こまかい手作業を行なう場合に使用するかち上げ用の作業台。家具屋で売っているウォールシェルフをひっくり返したものにカッティングマットを貼って使っている。6 TV視聴用のタブレット。7 研磨作業に多用するゴッドハンド「神ヤス」は番手ごとにケースに入れてすぐに手が伸びるようにしている。8 模型部屋構築の際に採用したのは「ネロブース」。問題となる排気は壁面に専用の穴を設けている。10 100円均一ショップで手に入る斜め差しのペン立てにタガネ類を保管している。11 使用頻度の高いニッパー類は専用スタンドを使って卓上で保管している。12 椅子はモデラー仲間のken16wさんから新築祝いにいただいたもの。13 塗料は大型の書類ケースに入れてテーブル下で管理している。14 作り付けのテーブルは脚がなく下が広く使えるのが特徴。キャスターの上に塗装ブースとして山善の食器乾燥機を入れている

キャスター付き収納を多用。 作業に合わせてレイアウトも変更可能

ココがPOINT!

サブテーブルを多用します

ガンブラの塗装など、多くのパーツをいかに並べる場合、キャスター付きの簡易テーブルを使用する。普段は入り口付近に配置



模型誌で作例を始めた当初は、妻とふたりでLEDKのアパート暮らしだったため、リビングの机の上が作業スペースでした。そのため作業が終わるたびに、製作中の模型を片付けなければいけません。塗装もそのアパートではできず30分ほど離れた実家で、平日仕事が終わったあとや週末に戻って塗装作業を進めていました。そういった環境では作業が思うように進まない事も多くありました。

その後、新居を新築で構えることになったのですが、妻には何よりも真つ先に模型専用部屋の確保をお願いしました。理解のある妻のおかげで省スペースながらも確保することができました。当初は2畳の予定でハウスメーカーさんに設計の依頼を出していましたが、間取りの都合ということで最終的には3畳のスペースを確保することができました。しかし、こういったスペースを確保する上で、妻と交わした約束がありました。それは「完成品のディスプレイ含め、すべてのことをこの模型部屋で完結させる」というものです。なによりも貴重なスペースを捻出してくれたわけですから、この約束は守らなくてはなりません。

そのような条件のなかでいかに自分の理想とする模型部屋を実現するのかを考えた結果、「工作と並行してサブチェックや塗装もでき、展示スペースも設置できるコンパクトながらも機能的な作業部屋」を目指すこととしました。3畳という狭い作業スペースを有効活用するため、部屋の間取りが確定した時点でディスプレイケースや収納ラック、収納棚を事前にセレクト。それに合わせてL字の作業機の幅や高さ、塗装ブースの換気口の開口位置、作業資料など貼り付けるマグネットボードの設置位置をハウスメーカーに依頼し、作り付けてもらいました。

作業の都度適したレイアウトに変更できるように塗料や工具を収納する棚はすべてキャスター付きです。移動に便利なキャスター付きの補助机も導入しています。塗装ブースはネロブースを導入しました。扉を開放したまま作業をしてもシンナーの臭い漏れもななく妻からは好評です。

■ 模型専用の作業部屋を作るといことは家族の理解を得ることが一番難しいポイントなのかもしれません。自分の場合は妻の理解もあり新居に引越した後も、いまままでおり模型を続けることができました。これを当たり前とは思わずに、家族に感謝しないとけないですね。



9784499232876

ISBN978-4-499-23287-6 C0076 ¥3200E

定価(本体3,200円+税)



1920076032004

充実した模型ライフのための環境構築術

MODELLER'S Room Style Book

2

モデラーズルーム スタイルブック2



Sasahara's Room

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> ken16w | <input type="checkbox"/> Tanuki | <input type="checkbox"/> Koji ITO | <input type="checkbox"/> Hideyuki NONOUE | <input type="checkbox"/> Dai SASAHARA |
| <input type="checkbox"/> Kuniyuki TAKEUCHI | <input type="checkbox"/> Fuzzy | <input type="checkbox"/> Hiroshi SUMI | <input type="checkbox"/> Seiji TAKAHASHI | <input type="checkbox"/> Pooh KUMAGAI |
| <input type="checkbox"/> Akira TANI | <input type="checkbox"/> Suou@KAWAGUCHI | <input type="checkbox"/> RYOTA | <input type="checkbox"/> Anmo NAITOH | <input type="checkbox"/> Yoshtaka CHOUTOKU |
| <input type="checkbox"/> Ku.Wa [FRAMEOUT MODELS] | <input type="checkbox"/> Riku KUROKAWA | <input type="checkbox"/> Kazuya FUKUDA | <input type="checkbox"/> Takeshi OHTUKA | <input type="checkbox"/> ROKUGEN |
| <input type="checkbox"/> Choji | <input type="checkbox"/> Hiroshi NSHIZAWA | <input type="checkbox"/> Go NISHIMURA | <input type="checkbox"/> Early Chop! | <input type="checkbox"/> GattoNero |

COCKPIT

RETURN